



# 2024 FUN&RUN! 2-Wheels in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

3 Aug.  
Sat.

イベント開催概要・レースレポート

## ■開催概要

- 大会名称 : 2024 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキットフルコース (5.821km)
- 開催日・天候(コース): 8月3日(土)・快晴(ドライ)
- 主催者 : ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット  
三重県鈴鹿市稲生町7992 <https://www.suzukacircuit.jp>
- 開催クラス: ★総参加台数 / 139台
  - ROAD STAR II / ROAD STAR EXPERT II...13台
  - FUN & RUN Mix Small / EXPERT...22台
  - FUN & RUN Mix Big / EXPERT...27台
  - ROAD STAR WARS II...14台
  - NEO STANDARD<CBR250R>...11台
  - NEO STANDARD<G310R>...20台
  - NEO STANDARD<Ninja250 (R)>...19台
  - NEO STANDARD<YZF-R25>...13台



★レースリザルトはインターネットでご覧いただけます。  
[https://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/](https://www.suzukacircuit.jp/result_s/)



★レース写真は、バトルファクトリー様のHPで  
ご購入いただけます。  
<http://www.battle.co.jp/race/top.htm>

## ■次回開催予定

- 大会名称 : 2024 FUN & RUN! 2-Wheels IN SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE
- 開催場所 : 鈴鹿サーキットフルコース (5.821km)
- 開催日 : 2024年11月23日(土/祝日)
- 開催クラス : NEO STANDARD<CBR250R / G310R / Ninja250 (R) / YZF-R25>  
ROAD STAR I / ROAD STAR EXPERT I, ROAD STAR WARS I





# 2024 FUN&RUN! 2-Wheels in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

3 Aug.  
Sat.

## 開催クラス紹介

### 【NEO STANDARD】

現在、各社から発売されている、手頃な車両価格で最も人気の高い4ストローク250ccマシンによるエントリークラス。カワサキNinja250R、ホンダCBR250R、YZF-R25、BMW G310Rの4車種にクラス分けされています。スプリントレースでありながら、途中ライダー交代またはピットインが必要となります。また、チームエントリーでシリーズ戦として開催し、車両別となったカテゴリーでのチャンピオンが決定するのも人気の理由。

ライダーを1大会2名まで登録することができ、チームとしても楽しめる、経済的なクラスとなっています。

<参加車両例>カワサキNinja250R ホンダVTR250 ホンダCBR250R ヤマハYZF-R25 BMW G310R

### 【ROAD STAR WARS I/II】

一般公道走行が認められている、いわゆる「ナンバー付」車両による、レース形式競技がこのROAD STAR WARSです。「I」と「II」は車両の大きさの違いであり、2ストローク251cc/4ストローク401cc以上の車両がROAD STAR WARS I、2ストローク86cc~250cc/4ストローク100cc~750ccまでの車両がROAD STAR WARS IIとなります。

<参加車両例>ホンダCBR1000RR ヤマハYZF-R6 ヤマハFZR400 スズキRGV250γ カワサキZZR1100 等

### 【ROAD STAR I/II】

ROAD STAR WARS同様、一般公道走行が認められるナンバー付車両による競技です。ROAD STAR WARSとは違い、こちらは全て「タイムアタック形式」の競技となります。入門者から上級者まで幅広く参加できるクラスとなっています。

<参加車両例>ホンダCBR1000RR ヤマハYZF-R1 トライアンフデイトナ675 ビューエルXB9S スズキTL1000S

### 【FUN&RUN Mix Small】

いわゆるシングルや小排気量車、すなわち排気量が2st250cc/4st 400cc以下で、ホイールサイズが16インチ以上の一般生産型市販車、単気筒および2気筒エンジンを搭載するバイク、そして400cc以下と 2ストローク250ccの公道用一般車両が対象。一世を風靡したレーサーレプリカなど個性的なバイクが参加します。排気量と気筒数により、Small I、Small IIと参加車両のカテゴリーが分かれています。

<参加車両例>ホンダNSR250SE ヤマハTZR250RS ヤマハSRX60 スズキSV400S ホンダCBR400RR カワサキZXR400R

### 【FUN&RUN Mix Big】

国内外のV型2気筒エンジン搭載車と一般生産型の車両で4ストローク401cc以上のマシンなら何でも参加可能なクラス。

国内外メーカーのツインバイク、そしてビッグネイキッドが一堂に会するレースは迫力が違います。特に「C-OPEN」クラスは、排気量が2ストローク251cc/4ストローク401cc以上でホイールサイズが16インチ以上であればどんな車両でも参加可能なクラスです。

<参加車両例>ホンダCBR1000RR ホンダCB1300SF ホンダVTR1000SP1 ヤマハYZF-R6 ヤマハXJR1300 スズキGSX-R600  
スズキGSF1200 カワサキGPZ900 ドゥカティ999S ドゥカティ1098S アプリリアRSV1000R



## 鈴鹿8耐の興奮冷めやらぬ鈴鹿サーキット! フルコースを舞台に熱い戦いが展開された!!

「みんなで走ってバイクをもっと楽しもう!!」をコンセプトに、1999年に始まった「FUN & RUN! 2-Wheels (通称“ファンラン”)」。この参加型レースイベントの2024年シーズン第2戦が8月3日(土)に開催された。“ファンラン”の魅力はなんと言っても様々なバイクと幅広い年齢層のライダーが一堂に会し、一日のうちで様々な排気量・カテゴリーの競技が開催されることだ。今回もナンバー付き車両を対象とした「ROAD STAR」および「ROAD STAR WARS」、小排気量マシンによる「FUN & RUN Mix Small/EXPERT」、大排気量マシンによる「FUN & RUN Mix Big/EXPERT」、さらにはスプリントレースでありながらセミ耐久のような楽しみ方ができる「NEO STANDARD」といった多種多様な競技が行われ、それぞれの競技で様々なバイクが魅力的なエキゾーストノートを響かせながら力強い走りを披露した。

最近の参戦車両で目立つのがヤマハYZF-R7とアプリリアRS660という2台のミドルスポーツモデルだ。この2車種は「ROAD STAR II/ROAD STAR EXPERT II」や「ROAD STAR WARS II」に多く参戦。似た成り立ちを持つモデルならではの接戦に注目が集まった。「NEO STANDARD」は女性ライダーの参加が多く、また<CBR250R/G310R>と<Ninja250(R)/YZF-R25>にダブルエントリーするライダーやチームも見られた。

ところで“ファンラン”では昨シーズンまで「Full Course Special」と題し、フルコースを使った大会が年に一回のペースで行われてきた。今年は今回のフルコース開催に加え、11月23日(土/祝日)の第3戦もフルコース大会が予定されており、見ごたえと走りごたえのあるシーズンとなっている。フルコース開催は参加者にも好評で、「東コースより多彩なコーナーが多く、楽しく走れた」「憧れの鈴鹿サーキットだからフルコースを走れて良かった」「今年はもう1回(フルコース開催)があるので、色々試してみたい。楽しみです」といった声が聞かれた。なお、“ファンラン”の原点と言える「ROAD STAR」と「ROAD STAR WARS」は今年をもって最終開催となり、2025年からは非開催となる。小排気量クラスの「ROAD STAR II/EXPERT II」と「ROAD STAR WARS II」に関しては今回の大会で終止符が打たれた。

次回は2024年シーズンの最終戦。大排気量の「ROAD STAR I/EXPERT I」と「ROAD STAR WARS I」が最終レースとなり、「NEO STANDARD」ではシリーズチャンピオンが決定するなど、いつも以上に盛り上がるのではないだろうか。是非楽しみにしていただきたい。



ROAD STAR WARS II スタートグリッド

### レースレポート-1【タイムアタック】

#### ■ROAD STAR II / ROAD STAR EXPERT II

この日最初に行われたこのタイムアタック競技にはヤマハYZF-R7やアプリリアRS660に混じって往年のレーサーレプリカも参戦。朝のフリー走行ではYZF-R7を駆る鈴木賢斗が後続を1秒512引き離す2分32秒581をマークした。午後に行われたタイムアタックではその鈴木がアタック早々に転倒。水本茂樹がまず2分33秒637をマークしてタイミングボードの頂点に。それに2分34秒715の藪谷文彦が続く。藪谷は2分34秒154をマークして自己ベストを更新。大竹洋司が2分34秒157を記録して藪谷に続く2番手に浮上する。太田黒健二が3周目に2分32秒166をマーク。太田黒は続く4周目に各区間で最速タイム更新して2分31秒734を記録。それがトップタイムとなった。



ROAD STAR II 総合表彰式 (優勝:水本茂樹、2位:藪谷文彦、3位:鈴木賢斗) カテゴリー別表彰式 (C4優勝:水本茂樹、C6優勝:丸川広夢、C7優勝:高木淳)



ROAD STAR EXPERT II 総合表彰式 (優勝:太田黒健二、2位:大竹洋司、3位:川島隆昌) カテゴリー別表彰式 (C4 EXPERT優勝:太田黒健二、C5 EXPERT優勝:大竹洋司、C7 EXPERT優勝:川島隆昌)

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。また、表彰式に参加しない選手、あるいは代理の場合もあります。  
 ※順位は暫定です。正式結果はウェブサイトでご確認ください。

### レースレポート-2【レース形式競技】

#### ■ROAD STAR WARS II

ナンバー付き車両によるレース競技の内、小排気量マシンによるこのカテゴリーは今回が最終回。公式予選では太田黒健二が2分30秒348のトップタイムをマークした。決勝レースではその太田黒が良いクラッチミートを披露してホールショットをゲット。2番グリッドスタートの田頭譲二が出遅れるが、その田頭が太田黒に続く2番手でオープニングラップを帰ってくる。太田黒は単独トップに。単独2番手となった田頭の背後で水本茂樹、藪谷文彦、大竹洋司がテールtoノーズのバトルを展開。藪谷は水本と田頭を立て続けにパスして2位に浮上する。太田黒がトップチェッカー。中盤以降、藪谷と激しいバトルを披露し、これをパスした田頭が2位となった。



ROAD STAR WARS II総合表彰式(優勝:太田黒健二、2位:田頭譲二、3位:藪谷文彦) カテゴリー別表彰式(C4優勝:太田黒健二、C5優勝:田頭譲二、C6優勝:丸川広夢、C7優勝:高木淳)

### レースレポート-3【レース形式競技】

#### ■FUN & RUN Mix Small / EXPERT

宮島伸也が公式予選で唯一の2分28秒台となる2分28秒691をマークしてポールポジションを獲得。決勝レースではその宮島が良いクラッチミートを披露してホールショットを奪うと、スタートで出遅れた松本真和がそれに続く。宮島はオープニングラップから後続を引き離しにかかる。松本、永田純一、清水省作も単独2番手、単独3番手、単独4番手に。清水が永田に接近すると3周目の1コーナー進入でこれをパス。松本は区間ごとに宮島に接近していく力走を披露。その後も松本は宮島のテールを狙う。マシントラブルが多発し、多くの選手が離脱していく中、宮島も5周目にピットロードへ。これにより単独走行となった松本がトップチェッカーを受けた。



FUN & RUN Mix Small 総合表彰式 (優勝: 芝井賢一、2位: 中谷紀彦、3位: 沢下智樹) カテゴリー別表彰式 (Small I優勝: 芝井賢一、Small II優勝: 上田裕史)



FUN & RUN Mix Small EXPERT総合表彰式 (優勝: 松本真和、2位: 清水省作、3位: 永田純一) カテゴリー別表彰式 (Small I EXPERT優勝: 松本真和)

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。また、表彰式に参加しない選手、あるいは代理の場合もあります。  
 ※順位は暫定です。正式結果はウェブサイトでご確認ください。



# 2024 FUN&RUN! 2-Wheels in SUZUKA CIRCUIT RACING COURSE

3 Aug.  
Sat.

## レースレポート-4【レース形式競技】

### ■FUN & RUN Mix Big / EXPERT

公式予選ではまず井沼真樹、増田利幸らがタイミングボードの上位に。それらのタイムを大きく上回る2分16秒808をマークした福山京太がポールポジションを獲得する。その福山がスタートで2度ほどウィリー。福山が集団に巻き込まれたことによってトップに立った7番グリッドスタートの増田が転倒する。3番グリッドスタートの内田洋一、福山のオーダーでオープニングラップを終了。その後方で2番グリッドスタートの和多瀬邦治と6番グリッドスタートの井沼が3番手の座を争う。福山は2周目にトップに立つと、内田のペースが落ちたことにより、徐々に単独トップに。結局、福山が後続に21秒086ものアドバンテージを築いて堂々の優勝を決めた。



FUN & RUN Mix Big 総合表彰式(優勝:内田洋一、2位:戸谷彰、3位:重久一聖) カテゴリー別表彰式(Big I優勝:大谷大輔、Big II優勝:戸谷彰、Open優勝:内田洋一)



FUN & RUN Mix Big EXPERT 総合表彰式(優勝:福山京太、2位:和多瀬邦治、3位:西溜英夫) カテゴリー別表彰式(Big I EXPERT優勝:早川泰治、Big II EXPERT優勝:橋本尚樹、Open EXPERT優勝:福山京太)

※表彰式は総合・カテゴリーを合同で実施しています。また、表彰式に参加しない選手、あるいは代理の場合もあります。  
※順位は暫定です。正式結果はウェブサイトでご確認ください。

### レースレポート-5【レース形式競技】

#### ■NEO STANDARD<CBR250R/G310R>

開幕戦でG310Rクラス優勝を果たした佐々木龍人が公式予選で2分45秒964をマーク。後続を4秒以上も引き離す圧倒的なポールタイムとなる。決勝レースでは佐々木、2番グリッドスタートの小牧寛由、3番グリッドスタートの吉村友伸/秀崎隆組の秀崎というフロントロー3台が横並び状態で1コーナーへと突入。小牧が佐々木をパスする。佐々木はオープニングラップ終了時点でピットへ。小牧、伊藤翼、奥田勇人/竹田透組の竹田のオーダーでオープニングラップを終了する。

小牧は徐々に単独トップに。2番手グループに稗田裕充/寺田愛基組の稗田が加わり、伊藤、竹田、稗田の3台がテールtoノーズのバトルを展開する。全車がピットインを終えた後は小牧、伊藤、寺田、佐々木、奥田のオーダーに。ファステストラップをマークしながら走行する佐々木が2番手まで浮上する。しかし、佐々木が小牧のテールを捉えるまではいかず、小牧がトップチェッカーを受けると同時にG310Rクラスのウィナーに。CBR250Rでは総合4位の稗田/寺田がクラス優勝を決めた。



NEO STANDARD<CBR250R> (優勝:稗田裕充/寺田愛基、2位:吉村友伸/秀崎隆、3位:中村和悦)



NEO STANDARD<G310R> (優勝:小牧寛由、2位:佐々木龍人、3位:伊藤翼)

### レースレポート-6【レース形式競技】

#### ■NEO STANDARD<Ninja250 (R) /YZF-R25>

開幕戦のYZF-R25クラスウィナーである鳥居典生が公式予選でまずトップタイムをマーク。栗田学/前田誠司組の前田が鳥居のタイムを上回り、トップタイムを記録するが、黄旗区間中の追い越しにより、決勝レースでは最後尾スタートとなる。2番グリッドスタートの鳥居、ポールポジションスタート中村和悦のオーダーで1コーナーへ。前田は9番手まで順位を回復してオープニングラップを終了すると、続く2周目には鳥居の背後に接近。4周目のデグナーカーブひとつ目で前田が鳥居の前に出るが、その後もその2台はテールtoノーズのバトルを繰り返す。上位ではまず鳥居がピットへ。中村、山本晃久、松浦光利らもピットに入る。前田は8周目終了時点でピットイン。栗田にチェンジする。全車がピットインを終えた後は栗田、松浦、鳥居、中村、杉島潤、向井丈人のオーダーに。10周目に栗田をパスした松浦がトップの座を守り切り、トップチェッカーを受けると同時にYZF-R25クラスを制した。Ninja250のウィナーは総合5位の向井だった。



NEO STANDARD<Ninja250 (R)> (優勝:向井丈人、2位:廣瀬直人、3位:木下優真)



NEO STANDARD<YZF-R25> (優勝:松浦光利、2位:鳥居典生、3位:杉島潤 ※正式結果)